



# ふれあい ひびきあい 学び合い かがやくたけのこキッズ



## えだわんだより

### 横浜市立荇田東第一小学校

◆〒224-0006 横浜市都筑区荇田東三丁目5番1号

◆Tel…045-941-7630 Fax…045-942-9464

◆<http://www.edu.city.yokohama.jp/sch/es/edahigashi/>



平成28年6月30日 第4号

## よく学び よく遊べ

副校長 大杉 昭雄

紫陽花の色も鮮やかになり、梅雨空にも晴れ間にも似合うようになってまいりました。肌寒い日がありながらも、元気に登校してくる子ども達の姿は活力に満ちています。

早いもので夏休みまであと15日となりました。学校では今、前期前半の学習や生活を振り返らせ、しっかりとしたまとめをすすめ、子ども達が楽しみにしている夏休みにつなげていきたいと考えているところです。

私の小学校時代、教室の前面に「よく学び よく遊べ」という言葉が掲げられていました。これが、子どものあるべき姿であると知らず知らずのうちに、心にインプットされていたのか、私自身、実によく遊びました。学校に行く目的は、たくさんのお友達と群れて遊ぶことと、放課後に遊ぶ約束をして帰ることの二つでした。勉強は学校だけで、後は宿題をやるだけの繰り返しでした。雨の日以外は、外で遊ぶのがあたり前で、夕焼けチャイムもないので、日が暮れるまでが遊びが許される時間でした。そんな時代でも、子どもが暗くなるまであそんでいると、人さらいに連れて行かれると言われていましたから、夕陽が落ちると、後ろ髪をひかれながらも、遊びを止めて家路につい

たものでした。石蹴り、缶蹴り、蠟石をつかった陣取り、ドッジボールなどにのめり込み、遊びの中には欠かせない勝ち負けを通して、悔しさと我慢を覚ええました。今思えば、子どもたちだけでつくり上げた社会があり、ルールがあり、倫理観があり、その中で育ち、育てられてきたように思います。現代は、子ども達が群れて遊ぶのに欠かせない三つの「間」が無くなったと言われていています。不審者の出没や車社会などの社会現象が取り上げた「安全な空間」、塾や習い事による「放課後の時間」。そして、友だちとの強いつながり「仲間」です。

荇田東第一小学校でも、自分に自信をもち、他とよりよく関わる力の育成の教育活動に全力をあげています。子ども時代にしかできないことをたくさん、そして、思いっきり体験させることが、将来たくましく生きる力の源であることは確かです。

まもなく迎える夏休みでも、外で遊んだり、地域行事に参加したり、自然に触れたりする「学び」を底支えする「遊び」や「体験」を通し、たくましく生きるエネルギーをたっぷり蓄えてほしいと願っています。

